

## 令和6年度 予算について

Q 令和6年度予算全体の中で、按田町政が最も重点とする政策予算についての内容は。

A 按田町長 令和6年度においても町民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現を基本に、環境に配慮した施策を盛り込んだ予算を編成している。更に防災・減災対策についても力を入れており、少しづつ効果が出てきていると感じている。今後はハード面での整備だけでなく、整備したものをどう活用するのかが、というところに注力していかなければならないと考えている。



岩井明議員

## マイナ保険証等 について

Q 政府は昨年12月22日の閣議で、被保険者証の新規発行を令和6年12月2日に停止し、廃止することを定めた政令を決定したが、国民のマイナ保険証の利用率が8カ月連続で低下するなど、国民のほとんどがマイナ保険証を利用したくないという意思を示す中で、本年の12月2日に現行の紙の保険証を廃止すべきではないと考えるが、町長の見解は。

A 按田町長 本町の国民健康保険・後期高齢者医療保険の健康保険証は、本年8月に一斉更新し、有効期限を翌年7月31日までとする健康保険証を発行するため、期限まではそのまま利用が可能である。本年12月2日以降、マイナ保険証を持っていない方には、職権で「資格確認書（有効期限1年）」を交付し、施設等の入所者や、マイナバーカード更新中の方など、マイナ保険証での受診が困難な方についても、申請により「資格確認書」を交付し、健康保険証と同様に医療機関への受診ができる。マイナ保険証利用により、医療機関が服薬情報や健診結果を確認でき、他の病気の推測や、薬の飲み合わせ・分量の調整ができることで、医療費削減に繋がるなどのメリットと、マイナ保険証の安全性などについての周知をきめ細やかにを行い、安心して医療機関を受診していただけるよう努めていく。



## 第1回臨時会

(2月6日開催)

## 条例の一部改正

▼豊頃町手数料条例の一部改正 戸籍法の一部改正に伴い、戸籍の交付が本籍地以外の市町村においても出来るようになるため、広域交付等に係る手数料を規定するための改正。原案のとおり可決されました。

## 津波避難艇の視察

3月14日の第1回定例会終了後、議員全員で豊頃町大津に3月8日配備された津波避難艇を視察し、担当者から説明を受けました。



大津地区に配備された津波避難艇を視察

## 意見書

○将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する意見書

産業厚生常任委員会にて審議した上記の意見書案が、岩井明産業厚生常任委員長から提案説明され、原案どおり可決し関係省庁・機関に提出されました。



提案説明する岩井明委員長

## 産業厚生常任 委員会レポート

### 1 調査の経過と結果

(1) プレミアム付特別商品券の発行状況について

○ プレミアム付特別商品券の発行実績について

令和4年度までのプレミアム付特別商品券の販売方法は、販売セット数の2分の1を65歳以上の方に予約販売し、残りは一般の方に商工会、農協、大津支所の窓口で販売をしていた。令和5年度からは65歳以上の予約販売を廃止し、全ての町民が一律に商工会、農協、大津支所の各窓口又は電話での受付による完全予約制での販売とした。併せて豊頃町の公式LINEでの受付も開始し、購入者の約3割がLINEでの受付により商品券を購入している。

令和元年度からの販売実績については、各年度においてそれぞれに4回に分けて販売しており、令和元年度についてはプレミアム率を20パーセントとして、延べ2,140人が1万5千セット、額面で1億8千万円分購入し使用率は99.61パーセントとなっていた。

令和2年度についてはコロナの影響による景気浮揚対策の為、第1弾ではプレミアム率を20パーセント、第2弾及び第3弾のプレミアム率を30パーセント、第4弾のプレミアム率を40パーセントとして販売し、延べ2,640人が1万8,700セット、額面で2億4,660万円分購入し使用率は99.73パーセントとなっていた。令和3年度においても景気浮揚対策としてプレミアム率を第1弾は25パーセント、第2弾から第4弾までは30パーセントとして販売し、延べ2,682人が1万9,400セット、額面で2億5,005万円分購入、使用率は99.73パーセントとなっていた。令和4年度についてはプレミアム率を20パーセントとしたことから、購入者数が前年度から減少し延べ2,490人が1万9,200セット、額面で2億3,040万円分購入し使用率は99.75パーセントとなっていた。令和5年度においては、第1弾から第3弾のプレミアム率を20パーセント、第4弾のプレミアム率を30パーセントとして販売した結果

第4弾の購入者が増加、全体で延べ2,585人が1万9,354セット、額面で2億3,856万円分の購入があった。なお調査時点においては第4弾の商品券の使用期限が3月15日までのため使用実績は出ていない。



プレミアム付商品券

○ プレミアム付特別商品券の発行に伴う経済効果について

本事業は、町外への買い物客の流失を抑えることを目的に商工会を中心に実施しており、令和元年度から令和5年度第3弾までの商品券の換金実績が10億6,072万1千円となっていることから、本町の住民の生活支援及び本事業に賛同する商工業者の事業継続の一

助となっており、本町の経済効果への影響は大きいことが確認できた。

○ プレミアム付特別商品券の発行等の事務処理について

プレミアム付特別商品券発行事業のうち、商品券の発行や参加盟店の取りまとめ、使用された商品券の換金事務の帯広信金豊頃支店への依頼、本事業実施に伴う町への補助申請などは商工会が行っている。

○ プレミアム付特別商品券発行等に伴う町の補助について

本事業にかかる町の補助については、商品券の販売価格に上乗せされたプレミアム分と事務経費分の全額である。令和元年度から令和4年度までの補助金の実績は、プレミアム分が1億8,352万7,795円で、事務経費分は1,692万1,550円の総額2億44万9,345円であった。令和5年度(概算申請)は、プレミアム分が4,545万8千円で、事務経費分は756万4千円の総額5,302万2千円の補助を見込んでいた。